

(A 県) Z 市基本情報

1. 人口、世帯数等

		男	女	計	内 75 歳 超	浸水想定 区域	土砂災害 警戒区域	計 (重複有)
A	人口	1,300	1,700	3,000	750	750	90	840
	世帯数	—	—	1,000	—	250	30	280
B	人口	4,000	6,000	10,000	3,000	4,500	90	4,590
	世帯数	—	—	4,000	—	1,500	30	1,530
C	人口	2,000	2,000	4,000	750	0	90	90
	世帯数	—	—	2,000	—	0	30	30
D	人口	1,000	2,000	3,000	1,500	1,800	1,200	1,800
	世帯数	—	—	1,000	—	600	400	600
計	人口	8,300	11,700	20,000	6,000	7,050	1,470	7,320
	世帯数	—	—	8,000	—	2,350	490	2,440

2. 職員数（全体：250 人）

【Z 市本庁舎】230 人

本部班員	25 人	市民班員	20 人
健康福祉班員	35 人	教育班員	20 人
土木班員	35 人	消防班員（単独消防）	40 人
環境班員	25 人	その他職員	30 人

【A 支所・C 出張所・D 出張所】20 人

A 支所及び出張所は、窓口業務が主な仕事で、職員は兼任で業務を担当。

常駐職員は、A 支所 10 名、各出張所 5 名。

※災害時には災害対応職員として対応

3. 消防団員数（全体：140 人）

消防本部	5 人	第 4 分団（A 地区西）	20 人
第 1 分団（B 地区東）	25 人	第 5 分団（C 地区東）	10 人
第 2 分団（B 地区西）	25 人	第 6 分団（C 地区西）	15 人
第 3 分団（A 地区東）	20 人	第 7 分団（D 地区）	20 人

※日中は、上記人数の半数しか参集できないものとする。

※消防団事務は消防本部が担当

4. 災害対策本部設置場所

Z 市役所 3 階大会議室

5. 災害対策本部等の設置基準（風水害）

体制	設置基準	活動内容	配備体制
災害警戒本部	<ul style="list-style-type: none"> ○警戒レベル3相当情報のいずれかが発表されたとき [警戒レベル3相当情報：洪水] <ul style="list-style-type: none"> ・氾濫警戒情報 ・洪水警報 ・洪水キキクル（赤 警戒） [警戒レベル3相当情報：土砂災害] <ul style="list-style-type: none"> ・大雨警報（土砂災害） ・土砂キキクル（赤 警戒） ○本市の全部又は一部が、台風の暴風圏内に入ることが予想され、被害が発生するおそれがあるとき 	<ul style="list-style-type: none"> ○気象情報・河川情報等の収集・伝達 ○水防活動の実施 ○水害・土砂災害危険箇所等の巡視 ○各排水機場、水門等の監視・操作 ○高齢者等避難の発令 ○広報活動 ○要配慮者施設への連絡 ○避難誘導、避難支援 ○避難所の開設・運営 ○県、関係機関との調整 	第1配備 ・ 1／3の職員参集
災害対策本部	<ul style="list-style-type: none"> ○警戒レベル4相当情報が発表される可能性が高いと予想されるとき [警戒レベル4相当情報：洪水] <ul style="list-style-type: none"> ・氾濫危険情報 ・洪水キキクル（紫 危険） [警戒レベル4相当情報：土砂災害] <ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害警戒情報 ・土砂キキクル（紫 危険） ○本市の全部又は一部が、台風の暴風圏内に入ることが確実と予想され、かつ、相当の規模に及ぶ被害が発生するおそれがあるとき 	（上記に加えて） ○避難指示等の発令	第2配備 ・ 2／3の職員参集
	<ul style="list-style-type: none"> ○警戒レベル4相当情報のいずれかが発表されたとき ○被害が発生し、全庁的な災害応急対策を実施する必要があるとき 	（上記に加えて） ○応急活動等の実施	第3配備 ・ 全職員参集

※災害警戒本部の段階においては、本部班・健康福祉班・土木班（全員参集）が中心になって対応にあたる。A支所・C出張所・D出張所では2名ずつ対応。

6. 班構成、事務分掌

組 織		事務分掌
本部長（市長）		○被害状況の把握 ○災害対策本部の配備体制の切り替え ○避難指示等の発令 ○応援要請 ○その他災害対策の重要事項の決定
副本部長（副市長）		
本部員 （教育長、各班長）		
各 班	本部班	○災害対策本部の設置に関する事務 ○避難指示等の発令に関する事務 ○応援要請等に関する事務 ○警察や県などの関係機関との連絡・報告 ○市民に対する情報伝達及び災害広報 ○被害状況等の報道機関への情報提供 ○その他災害対策本部運営に関すること
	健康福祉班	○避難所の開設・運営（開設については、本部班と検討） ○要配慮者支援 ○医療救護 ○遺体の処理・埋火葬 ○防疫・保健衛生
	土木班	○気象・河川情報等の収集・伝達、被害状況等の把握 ○水害・土砂災害の防止 ○重要道路の確保 ○住宅の応急修理 ○応急仮設住宅の建設
	環境班	○上下水道の応急復旧 ○給水 ○仮設トイレの設置 ○し尿処理・災害廃棄物処理
	市民班	○食料・生活必需品の供給 ○り災証明書の発行
	教育班	○小中学校等の施設被害把握、応急復旧、児童・生徒の安全確保
	消防班	○救出・救助 ○消防活動

7. 避難指示等の基準及び対象地域（洪水・土砂災害）

警戒 レベル	避難 情報等	洪 水 (洪水予報河川／水位周知河川等)	土砂災害
警戒 レ ベ ル 3	高 齢 者 等 避 難	<p>【洪水予報河川】明治川・昭和川</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 指定河川洪水予報により、水位が避難判断水位（レベル3水位）に到達したと発表され、かつ、水位予測により引き続きの水位上昇が見込まれる場合。 2 水位予測により、水位が氾濫危険水位（レベル4水位）に達することが予想される場合。 <p>【水位周知河川等】大正川</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 水位が避難判断水位（レベル3水位）に到達した場合。 2 次の①～③のいずれかにより、急激な水位上昇のおそれがある場合。 <ol style="list-style-type: none"> ① 上流の水位が急激に上昇している場合。 ② 洪水キキクルに「警戒」（赤）が出現した場合。 ③ 上流で大量又は強い降雨が見込まれる場合。 <p>【共通】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 軽微な漏水・侵食等が発見された場合 2 高齢者等避難開始の発令が必要となるような強い降雨を伴う台風等が、夜間から明け方に接近・通過することが予想される場合。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 大雨警報（土砂災害）（レベル3相当）が発表され、かつ、土砂キキクルに「警戒」（赤）が出現した場合 2 数時間後に避難経路等の事前通行規制等の基準値に達することが想定される場合 3 大雨注意報が発表され、当該注意報の中で、夜間～翌日早朝に大雨警報（土砂災害）（レベル3相当）に切り替える可能性が高い旨に言及されている場合
警戒 レ ベ ル 4	避 難 指 示	<p>【洪水予報河川】明治川・昭和川</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 指定河川洪水予報により、水位が氾濫危険水位（レベル4水位）に到達したと発表された場合。 2 水位予測により、水位が堤防天端高（又は背後地盤高）を越えることが予想される場合。 <p>【水位周知河川等】大正川</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 水位が氾濫危険水位（レベル4水位）に到達した場合。 2 次の①～③のいずれかにより、急激な水位上昇のおそれがある場合。 <ol style="list-style-type: none"> ① 上流の水位が急激に上昇している場合。 ② 洪水キキクルに「危険」（紫）が出現した場合。 ③ 上流で大量又は強い降雨が見込まれる場合。 <p>【共通】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 異常な漏水・侵食等が発見された場合 2 避難指示の発令が必要となるような強い降雨を伴う台風等が、夜間から明け方に接近・通過すること予想される場合。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 土砂災害警戒情報（レベル4相当）が発表された場合 2 土砂キキクルに「危険」（紫）が出現した場合 3 土砂災害の前兆現象（山鳴り、湧き水・地下水の濁り、溪流の推量の変化等）が発見された場合

警戒レベル	避難情報等	洪水 (洪水予報河川／水位周知河川等)	土砂災害
警戒レベル 5	緊急安全確保	【洪水予報河川】明治川・昭和川 1 洪水の危険度分布（水害リスクライン）で「氾濫している可能性」（黒）になった場合 2 決壊や越水・溢水が発生した場合（氾濫発生情報等により把握できた場合）。 【水位周知河川等】大正川 1 洪水キキクルに「災害切迫」（黒）が出現した場合 2 決壊や越水・溢水が発生した場合（水防団等からの報告により把握できた場合）。	1 大雨特別警報（土砂災害）が発表された場合 2 土砂キキクルに「災害切迫」（黒）が出現した場合 3 土砂災害が発生した場合

（２）避難指示等の対象地域

洪水	土砂災害
<ul style="list-style-type: none"> ・はん濫のおそれのある河川の浸水想定区域 ・その他避難が必要とされる地域 	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害(特別)警戒区域 ・その他避難が必要とされる地域

８．水位観測所及び水位危険度レベル

警戒レベル	水位	大正川 水位観測点	昭和川 水位観測所	第三小学校 (明治川) 水位観測所
	水防団待機水位	1. 5 m	2. 0 m	2. 0 m
警戒レベル 2	はん濫注意水位	2. 5 m	2. 5 m	3. 1 m
警戒レベル 3	避難判断水位	3. 5 m	3. 0 m	3. 9 m
警戒レベル 4	はん濫危険水位	4. 5 m	4. 0 7 m	4. 3 9 m

（注）大正川水位観測点は県管理。避難判断水位及びはん濫危険水位は市職員が判断する。昭和川水位観測所及び第三小学校水位観測所は国管理。

９．指定避難所一覧

地区	避難所名	避難可能人数	地震	津波	浸水	土砂
A	第三小学校	250 人	○	○	○	○
B	第一小学校	250 人	○	○	○	○
	中央中学校	250 人	○	○	○	○
	県立センター高校	300 人	○	○	×	○
	平成文化会館	100 人	○	○	○	○
C	第二小学校	250 人	○	○	○	○
	C 地区集会所	50 人	○	○	○	○
	C 出張所	50 人	○	○	○	○
D	D 地区集会所	50 人	○	○	○	×
	D 出張所	50 人	○	○	○	○

※福祉避難所は、平成文化会館（多目的室、収容可能人数 50 人）

※指定避難所が開設された場合、健康福祉班の職員を各避難所に2名派遣し、避難所運営にあたらせる。

※福祉避難所・医療救護所が開設された場合、健康福祉班の職員を2名ずつ派遣し、運営にあたらせる。

※小中学校、高校の避難可能人数は、体育館での収容可能人数とする。

10. 土のう袋保有場所一覧

保有場所	保有数
Z市役所	2,000 袋
A支所	1,200 袋
消防本部	2,000 袋
水防倉庫（1～8分団詰所）	（各300袋）2,400 袋

11. 防災行政無線等

種類	台数
戸別受信機	全世帯・事業所
移動系	市役所：10台、A支所：3台

＊住民への情報伝達手段としては、この他、緊急速報メール、登録制防災メール（登録者2,000人）、サイレン（地区単位で吹鳴）、LINE、Facebook、Xがある。また、市ホームページに防災行政無線の放送内容が随時掲載される。

12. 公用車台数

所有班	台数
本部班	2台
健康福祉班	4台
土木班	4台
その他	5台

13. 緊急消防援助隊・自衛隊ベースキャンプ地（予定地）

Z市消防本部東隣の広場

14. 医療救護所指定場所（予定地）

第一小学校

15. 医療機関の病床数

病院	病床数
みなと病院	30床
やまたに病院	30床
Z市医師会病院	100床
B産婦人科	10床

16. 福祉施設の入所者

施設名	入所者定員数
グループホーム中原	30 人
ライフケア昭和橋（住宅型有料老人ホーム）	50 人
ニューライフ東山（介護付き有料老人ホーム）	50 人
特別養護老人ホーム昭和川	40 人

※各施設とも、デイサービス（通所介護）も行っている

17. 福祉バス

施設名	車両
Z 市役所	40 人乗り・1 台
Z 市社会福祉協議会	10 人乗り・1 台
グループホーム中原	40 人乗り・1 台
ライフケア昭和橋（グループホーム）	5 人乗り・1 台
ニューライフ東山（有料老人ホーム）	5 人乗り・2 台
特別養護老人ホーム昭和川	10 人乗り・1 台

18. 物資拠点（予定地）

市立運動公園内 体育館

19. 備蓄倉庫物資一覧（市立運動公園内 体育館）

備蓄品目	数量
毛布	1,000 枚
乾パン	1,000 食分
アルファ米	1,000 食分
飲料水（ペットボトル 500ml）	1,000 本
仮設トイレ	30 基

※アルファ米はアレルギー対応。ハラル食品の備蓄は無し。

20. 協定業者

- コカ・コーラボトラーズ株式会社（飲料水等）
- イオン株式会社（食料品、日用品等）
- コープ（食料品、日用品等）
- コメリ（日用品等）

21. 協定地方公共団体

- B 市（隣県の市）
- C 市（隣県の市）
- V 市（遠方の県内の市）

※Z 市と他自治体との位置関係

- 隣接：M 市、N 市、O 市、P 市、Q 市
- 隣接しないが近い：R 市、S 市、T 町、U 町
- 同じ県内：M 市、N 市、O 市、P 市、Q 市、R 市、S 市、T 町、U 町、V 市

22. 小中学校、高校の児童・生徒数

学校	児童・生徒数	教職員
第一小学校	700 人	30 人
第二小学校	500 人	20 人
第三小学校	300 人	18 人
中央中学校	750 人	50 人
県立センター高校	800 人	60 人

23. 保育園の園児数

保育園	園児数	保育士数
やまたに保育園	78 人	8 人
みなと保育園	85 人	10 人